

# 文教福祉常任委員会記録

令和6年10月29日（火）午前9時57分～午前10時22分（9階909会議室）

## ○出席委員（9名）

委員長	川又 康彦
副委員長	高木 直人
委 員	佐藤 勢
委 員	遠藤 幸一
委 員	佐々木 優
委 員	石原洋三郎
委 員	大平 洋人
委 員	宍戸 一照
委 員	半沢 正典

## ○欠席委員（なし）

## ○市長等部局出席者（なし）

## ○案 件

所管事務調査「児童生徒の体力の向上に関する調査」

- 1 参考人招致について
- 2 行政視察について
- 3 その他

---

午前9時57分 開 議

（川又康彦委員長）ただいまから文教福祉常任委員会を開会します。

初めに、参考人招致についてを議題といたします。

前回の委員会において協議しました1回目の参考人招致について、プロフィール、参考人招致実施要領案を作成しましたので、説明いたします。今ご案内した参考人プロフィールの資料をご覧いただきたいと思います。前回協議したとおりですけれども、1回目の参考人招致は、福島大学人間発達文化学類のスポーツ健康科学コース教授の小川宏氏となります。参考人は、子供の体力、運動能力向上

プログラムなどを長年研究なさっておりまして、ふくしまっ子健康・体力自分手帳のデジタル化の研究や運動身体づくりプログラムの作成にも携わった実績がございます。詳細については、プロフィールをご確認お願ひいたします。

次に、参考人招致実施要領案をご覧ください。日時については、後ほど、この説明の後に調整いたします。

場所は、市役所9階の909会議室。

目的は、記載のとおりになります。

4番目の聴取する意見の内容について、詳細に説明いたします。テーマは、児童生徒の体力、運動能力の現状と課題、向上策についてといたします。

児童生徒の体力、運動能力、体格の近年の傾向では、生活習慣、運動習慣と体力の相関関係、体格と体力の相関関係、体力や運動能力が低いことによる影響、運動をする児童と運動をあまりしない児童の二極化が問題となっている運動習慣の二極化などについて意見開陳を受けたいと考えております。

児童生徒の運動環境を取り巻く課題についてでは、原発事故やコロナ禍の影響や近年の異常気象による影響などについて意見開陳を受けたいと考えております。

小中学校における体力向上策についてでは、特徴的な取組を行っている学校の事例とその効果、福島県の取組として、ふくしまっ子健康・体力自分手帳の活用やデジタル化、運動身体づくりプログラムの活用と効果などについて意見開陳を受けたいと考えております。特に参考人は、ふくしまっ子健康・体力自分手帳のデジタル化の研究や運動身体づくりプログラムの作成から携わっていたため、様々なご意見を聴取できると考えております。

また、児童生徒の体力、運動能力、体格の近年の傾向のところで、参考人が今回の意見開陳のため、県教育委員会へ働きかけて、県内のデータを収集していただいております。さらに、詳細な分析をするために、福島市のデータも分析したいとの申出がありました。そのため、次回の市教育委員会の当局説明の際に委員会として当局へ資料請求を行い、当該資料を参考人へ提供したいと考えております。この点については、後ほど協議いたします。

次に、当日の進め方についてですけれども、説明が45分、質疑応答が45分程度で、その後委員のみで意見開陳を行いたいと考えております。こちらは、日程を午前の場合と午後の場合で場合分けしております。

次に、報道機関の取材について以降の項目は記載のとおりですので、ご覧ください。

まず、資料要求の部分と日程調整以外の部分でご意見がございましたらお願ひいたします。このような内容でよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長)では、そのように進めます。

次に、今ほど申し上げました市教育委員会への資料要求の件についてを協議いたします。

福島市の体力・運動能力、運動習慣等調査結果のデータを委員会として資料要求し、参考人に提供することは、より詳細な意見開陳を受けて、本調査において見識を深めるために必要なことと考えております。具体的には次回の教育委員会の当局説明の際に、冒頭で委員会として当局へ資料要求を行うことを考えております。

このことについてご意見がございましたらお願ひいたします。

**(半沢正典委員)** 確認なのですけれども、全国学力テストとか体力調査、学習状況調査についてはホームページ等でいつでも、誰でも、現在でも閲覧できることになっておりますし、我々もそれを見て、議会活動に生かしているわけですけれども、それ以上の資料があるということなのですか。それ以上の資料を求めているということなのですか。その辺ちょっとお伺いします。

**(川又康彦委員長)** 事務局と当局のほうにもその辺のお話しさせていただいたのですが、一般に公表されているものよりも詳しいものがあると聞いております。

**(半沢正典委員)** では、それを我々が資料請求して、我々も資料として参考にしつつ、参考人としても情報を共有した上で議論を深めるというような狙いだということなのですね。

**(川又康彦委員長)** 当局説明の際に、本市の体力関係についてのデータということで、その説明の中にもその資料を基に説明していただくというふうに聞いておりますし、あとはその資料を請求させていただくことで参考人のほうに提供するというふうに捉えていただければと思います。データとして一人一人個人にまで来るかというのは、事務局のほうでどのように把握しているのですか。

**(書記)** 資料要求の場合だと、委員会として資料要求しますので、委員それぞれが見れるようになります。基本的にはサイドブックスを通して見れる環境にしまして、なお、サイドブックスはPDFにしか対応していませんが、そのような方法が考えられます。

**(川又康彦委員長)** そのような形になるかと思います。よろしいですか。

**(半沢正典委員)** はい、分かりました。

**(川又康彦委員長)** ちなみに、市のほうの体力測定のデータについては、直近のデータという形になります。今確認している段階だと、県のほうのデータについては令和4年のものを基に、参考人のほうでそれを基にした分析結果を開陳していただけるというふうに聞いております。なお、県の方は、令和5年度分については間に合わないということでございます。

その他何かございますか。

**(宍戸一照委員)** 令和4年度と令和5年度である程度このように変わりましたということもあるわけだから、例えば、本市のほうも令和4年度分を先生に提供するの。

**(書記)** 発言させていただきます。

教授が求めているデータというのは、委員長おっしゃいましたように県から得られたデータが令和4年度分ですので、やはり同一時期の比較として、福島市のデータは令和4年度分のデータのほうを

求めておりました。

(宍戸一照委員) そうすると、同一時期のデータということだね。分かりました。

(川又康彦委員長) その他ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) では、資料要求を求めるということでおろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) では、そのようにさせていただきます。

ここで、参考人招致の日程調整のため、暫時休憩いたします。

午前10時06分 休 憩

---

午前10時08分 再 開

(川又康彦委員長) 日程調整の結果、参考人招致の開催日時については12月18日水曜日の午後1時20分といたします。

それでは、参考人招致実施要領案につきましては、日時に確定した日付を入れ、当日の進め方に午後のみに修正して、後ほど更新いたします。

次に、行政視察についてを議題といたします。

フォルダー内の行政視察先候補一覧をご覧いただきたいと思います。こちらについては、今回の調査テーマ選定の際に意見の多かった、1つ目に全国の体力・運動能力、運動習慣等調査の上位県で独自の取組を行っている自治体、2つ目に学校体育館への空調導入を行っている自治体、3つ目に運動器に関する理学療法やスクールトレーナー制度を導入している自治体を中心に候補を調べました。ナンバー1からナンバー5までが体力向上の優れた取組を実施している自治体、ナンバー6からナンバー8までが体育館の空調を導入している自治体、ナンバー9から10までが理学療法やスクールトレーナー制度を体育に導入している自治体になります。

ちなみに、ナンバー7の岸和田市とナンバー8の燕市で学校体育館に導入している移動式空調は、それぞれ別添資料にて簡単に説明させていただきます。ナンバー7の岸和田市については、DDの視察先参考資料1を参照願います。自治体通信の記事から、費用負担を抑えた体育館空調について引用しています。5ページと6ページが移動式空調の製品についての詳細資料となります。

ナンバー8の燕市については、視察先参考資料2を参照願います。1ページ目が燕市の報道資料より引用し、2ページが燕市長のホームページより、設置の様子を引用しています。

これら両方ともなのですが、移動式空調と通常エアコンの違いは、移動式空調のほうは室外機が不要で、取付工事が短期間で済むこと、価格が壁つけエアコンと比較すると安価であることです。ただし、移動式空調は、壁つけエアコンと比較すると冷却範囲が狭いことがデメリットとして挙げられるのかなと考えています。

今回の行政視察は、3つの視点で、それぞれ1自治体ずつ調査できればと考えております。

なお、視察の大まかな日程は閉会後協議いたしますが、視察先候補についてご意見がございましたらお願ひいたします。

(石原洋三郎委員) 移動式空調機なのですけれども、必ずしもこういうものではないのでしょうかけれども、市内の小学校、中学校で体育館にこういう大型の扇風機とか、空調関係を備えているところってあるかと思うのですけれども、そういう市内の小中学校の設備でこのようなものはないですか。

(川又康彦委員長) 今回、教育委員会の当局説明の中でもその辺の説明はいただけるかなとは思っていますが、現在で空調が入っているかどうかというのは委員長、副委員長で確認しておりません。扇風機があるところは把握していますけれども。

(石原洋三郎委員) 要はイメージすると、結局体育館の中にそういう移動式のものを備えて、空調やろうということなのですけれども、扇風機だったら実際にあって、涼しいなというのはたしかあったとは思うのですけれども、例えば当局説明でそういうのが、この部分、ちょっとそこまでして聞きに行くようなものなのかなともちょっと思ったものです。

(川又康彦委員長) それは、もう既に導入している等があれば、そこまでは不要ではないかと。

(石原洋三郎委員) とも思いましたし、体育館の中での設備ということですよね。

(川又康彦委員長) そうです。

(石原洋三郎委員) ただ、実際に見てみて、体験してみて、やっぱりその重要性をしみじみ思うということは確かにあるかなとは思うのですけれども、実際に、百聞は一見にしかずなので。

(川又康彦委員長) 視察時期が夏ではないため、エアコンの実際の涼しさは体感できないと思います。ただ、資料等と、多分視察先の説明で、実際にどれくらい温度的な違いがあるのか等についてはご説明いただけるのかなとは考えております。あくまでも扇風機というのは換気を含めてという形が中心だと思いますし、実際にそのことによって体育館内での活動が中止しているという実態も含めて、当局のほうから説明いただけるのではないかなと思っておりますので、それを踏まえての視察先の候補と考えていただければと思います。これによって、そういったものに変化があるのかどうかということもぜひ確認していただければと思います。

そのほか何かござりますか。

(佐藤 勢委員) 9、10のスクールトレーナーに関して、私も非常にやってみたいなというふうに思っていたところでした。近年、認定スクールトレーナーというのが認定されまして、学校健診とともにスクールトレーナーが一緒に行って、いろいろな評価とかアプローチを加えていると。先行的に実施している自治体では成果も結構上がっているという話もお聞きはしていたので、ぜひ視察のほうにちょっとこの辺は行ってみて、話を聞きたいなというふうに思っておりました。

(佐々木優委員) 小学校の体育館の空調のところなのですけれども、避難所にもなり得る場所であるということも全国的にあるわけですね。小学校の空調だけということではなく、かつ避難というと

ころも含めた取組は、今回の視察では含まれないのかもしれないのですけれども、学校の体育館といふのは避難する場所になり得るということも含めて見るということは大事なのではないかなというふうに思うのです。さっき別添でつけられたもの、この移動式のものとかというのはありましたけれども、それはそれで必要ではあるのですけれども、全体的なことを考える必要があるかなと私は思うので、避難所となり得る場合の対応としても考慮すべきかなというふうに思います。寝屋川市がそういうことをやっていますということを言っています。

(川又康彦委員長) 現在候補一覧という形ですけれども、視察先に対しての質問項目ということについてはこれから協議事項として出てくる内容になるかと思いますので、その辺について事前に考慮させていただきたいと思います。また、視察に行った先でも、もし寝屋川になった場合ですけれども、ぜひ佐々木委員のほうでもそういった取組について質問していただければなと思います。

そのほかございますか。

(宍戸一照委員) 空調については、石原さんの意見、佐々木さんの意見があるけれども、当局としてはどういうふうな現在見積りというか、試算をしているというか、そういうのもあるとすれば、やっぱりそれも参考にすればいいわけで、それを聞いた上で、こういうものを、例えば岸和田市にしても、燕市もこのような簡易式もあるのだよということで見てきてもいいのかなと。今佐々木さんがおっしゃるような高級なエアコンにすれば、それは予算的に相当な、体育館そのものの構造を変えないと、なかなか効率は上がらないと思うので、まず次の段階としてこういうようなものを取り入れるということも可能性としてはあると思うので、当局でどういうふうな試算をしているか、その辺も聞いてみる必要性はあるのかなと思います。いきなり空調という、これを考えた場合は、なかなかこれハードルが高いと思うのだよね。常に空調を稼働しなくてはならないわけだから。それよりは、やっぱり使うときのスポット、セパレートで使えるものも、予算的に考えれば、次のステップとしては取り入れやすいのかなと。そういう場合は、その辺を含めて当局はどういうふうに試算しているのか聞いてみる必要性はあって、ではこの次、これならばどのぐらいの予算になるのかなと、本市の場合、可能性として。大型扇風機は、大概の小学校で今持っているから。だから、この次のステップとしてはこれでしようけれども。特に岸和田市なんか暑いのだから。それで間に合っていると、ある程度間に合っているとも書いてあるし、間に合っていないとも書いてあるのだけれども、読んでみると。いきなり空調設備といつてもなかなか予算的には、構造も変えなくてはならないと思うので、次のステップを見るという意味ではこれもいいのかなと。

(半沢正典委員) 今設備のほうの話をしていますけれども、設備については、単純な設備の機能の部分であれば、申し訳ないですけれども、石原委員が言っているように、わざわざ行って、行くのももちろん大切だけれども、やっぱり今限られた行程の中で決めなければいけないので、設備については付加価値の高い、本当に将来、佐々木委員がおっしゃるような、将来的にも非常に理想的な体育館の設備をやっているところのほうが逆にいいのではないかという感想は持っていました。それで、私

としてはやはり体力向上策ということで、もちろん限られた、多分マックスで3か所だと思うので、この前、この提案するときにお願いしたように、原発事故とか以来非常に体力が、これはまだ暑さの問題ではなくて、福島市では、根本的などこかが問題なのだろうなというふうに思っています。だから、その辺を今後しっかりと年間を通して体力向上の効率的かつ効果的な体力向上をやっているようなところを、1か所ならずとも、そういうところをちょっと見てみたいなという感想は持っているということをお伝えだけさせていただきます。

(川又康彦委員長) 参考にさせていただきます。

そのほかございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) それでは、ただいまいただいた意見を考慮しながら、視察先の選定にあたっては正副委員長のほうにご一任いただければと思うのですが、よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) では、そのようにいたします。

次に、その他といたしまして、委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) ないようですので、本日の文教福祉常任委員会を終了いたします。

午前10時22分 散会

文教福祉常任委員長

川 又 康 彦